



# ぎふ労福協

岐阜県労働者福祉協議会 編集発行人/高田勝之

vol.115

2020.1.1

岐阜市鶴舞町2-6-7  
ワークプラザ岐阜内  
TEL(058)248-6029  
FAX(058)245-2410

【岐阜労福協機関紙】 連合岐阜・東海労働金庫・こくみん共済coop・岐阜県勤労福祉センター <http://www.gifu-rofuku.jp/>

## 新年のごあいさつ



岐阜県労働者福祉協議会  
会長 高田勝之

岐阜県労働者福祉協議会の会員並びに関係者の皆さん、新年明けましておめでとうございます。それぞれのご家族共々、健やかに新年を迎えられたことと、推察を致します。同時に本年が皆さんにとって、実り多き年でありませう、ご祈念を申し上げます。

さて昨年も前年に引き続き、自然災害の多い年となってしまいました。特に10月中旬に発生した台風19号は、過去最大級の大きさとも言われ、東日本を中心に、まさに甚大なる被害をもたらせました。犠牲となられた方々、被災された全ての皆さんに対し、改めてお悔やみとお見舞いを申し上げたいと思います。

岐阜労福協としては、台風被害の直後に予定していた、常任幹事会メンバーによる、東日本大震災の被災地である、福島県への視察を急遽中止とし、災害被災地の復旧の一助になればとの思いから、災害義援金(10万円)を福島労福協へ贈呈させていただきました。また11月に開催した、勤労者チャリティー文化講演会では、参加者の皆さんにカンパのお願いもさせていただきました。

被災者の方々の中には、未だに仮設住宅等、避難先での不自由な暮らしを余儀なくされておられる方も多く聞きます。改めて、被災者の方々が一日も早く、落ち着いた暮らしを取戻していただけますよう、心より祈りたいと思います。

また昨年は、元号が『平成から令和』へと変わり、新た

な時代への幕開けとなった年でもありました。平成の30年間を振り返れば、やはり思い出されるのは、阪神淡路大震災や東日本大震災など、大規模災害の多発であります。福島県を始めとし、いまだ復興の道半ばである被災地に対し、岐阜労福協として、今後も心を寄せ続けていくと共に、労福協の立場から、岐阜県に対して防災と減災の取組強化について、継続して要請していきたいと思えます。

さて今年はどうな年になるのでしょうか?正直申上げて想像が付きませんが、災害や殺伐とした事件も起こらない、穏やかな1年であってほしい、そう願うばかりであります。

今私達を取巻く環境は、昨年10月からの消費税の増税(8%→10%)の影響から、消費が低迷しており、景気も全体的に停滞気味であるといえます。今年は東京五輪が開催されることから、五輪景気に期待をする声もありますが、最も大切なのは、個人消費の拡大ではないでしょうか。その意味では連合の2020春季生活闘争に大いに期待したいと思います。

最後になりますが、本年も岐阜労福協の取組みに対し、昨年と同様にご協力を賜りますようお願いを申し上げ、2020年の年頭にあたり、ご挨拶と致します。

本年もどうぞ宜しく願い申し上げます。

# 2019年度 第1回岐阜労福協産別代表者会議

岐阜労福協では、中央労福協の「2019全国福祉強化キャンペーン」と労働福祉事業団体の事業推進と利用拡大に向けた取り組みの一環として8月20日(火)2019年度第1回岐阜労福協産別代表者会議を「ワークプラザ岐阜」にて開催いたしました。



高田会長 あいさつ



産別代表者会議の様子

## 岐阜労福協からの要請内容は

### 1.労働者福祉運動強化に向けた取り組みについて

- (1) 貴組織の定期大会議案書の運動方針に、労働福祉事業団体の事業推進に関する方針の記載や補強をお願いいたします。
- (2) 貴組織の取り組みに関する理解を深めるために、定期大会の議案書を各労働福祉事業団体の担当職員に渡していただきますようお願いいたします。
- (3) 貴組織と各労働福祉事業団体との更なる連携や、利用促進に向けた取り組みをお願いいたします。
- (4) 貴組織の各種会議資料や機関紙等に、各労働福祉事業団体の広告の掲載をお願いいたします。
- (5) 労働者福祉運動の担い手の育成に向け、岐阜労福協主催の「理念・歴史・政策セミナー」への参加や、各労働福祉事業団体の事業についての研修会を企画いただきますようお願いいたします。
- (6) 上記の取り組みについて、貴組織に加盟の単組・支部まで周知いただきますようお願いいたします。

### 以上の6項目について、岐阜労福協として要請いたしました 2.各労働福祉事業団体の事業推進の取り組みについて

- (1) 東海労働金庫
    - ① 団体・個人預金
    - ② iDeCo・つみたてNISA
    - ③ 家計の見直し運動
  - (2) こくみん共済coop岐阜推進本部
    - ① 団体生命共済
    - ② 新こくみん共済・新長期生命共済
    - ③ 住まいる共済(火災共済・自然災害共済)
    - ④ マイカー共済・自賠責共済
  - (3) 岐阜県勤労福祉センター
    - ① ワークプラザ岐阜会議室の利用拡大
    - ② ライフサポートセンターぎふの取り組み周知
- について要請、意見交換を行ないました。

## 2019年度岐阜労福協主催

## 理念・歴史・政策セミナー開催



講師／山本幸司氏



セミナーの様子

れ、新しい階級社会が誕生したことや持続可能性を脅かす人口動態など、激動する社会環境や情勢についてのお話がありました。

次に労働運動、協同組合運動は社会を変える力を持っているか?力の源泉は?について、今に引き継ぎたい労働者自主福祉運動の歴史と教訓として、労福協ならびに労働金庫・こくみん共済coopの創設の背景や歴史について、理解を深めました。

最後に、労働者自主福祉運動が新しいステージに踏み出すためには、4つの視点が大切であると話しされました。

- 1. 時代に向き合う覚悟として、現実を直視し、時代と社会に対する共通認識に立つこと
- 2. 歴史に学ぶとして、運動は困りごとや不安に寄り添うことから始まったこと
- 3. 自分たちの足元からモデルケースを創り出すこと
- 4. 「トライ&エラー」をおもしろがる作風、文化が不可欠であること

当日の会場は、用意した席がほぼ埋まる84名の参加者があり、質疑応答も含め終了予定時刻を若干超過するなど、講演を熱心に聞き入る様子を見ることができました。

9月26日(木)「ワークプラザ岐阜」5F大ホールで2019年度岐阜労福協主催「理念・歴史・政策セミナー」を開催しました。当日は高田会長の挨拶で始まり、講師に労働者福祉中央協議会講師団講師の山本幸司氏をお招きし、「誰もが人として生きていける社会のために 労働者自主福祉運動を新しいステージに前進させよう!」～歴史に学び「共助の創造と公助の再構築」＝新しい時代を切り拓こう～をテーマに講演いただきました。

最初に、私たちはどういう時代を生活しているかについて、私たちは今、これまで経験したことのない社会構造の変化の中で生きており、雇用・勤労形態の変化と劣化により中間層が解体さ



## 飛騨支部主催 『理念・歴史・政策セミナー』 開催

11月13日(水)岐阜労福協飛騨支部主催『理念・歴史・政策セミナー』を(一財)飛騨地区労働者福祉会館(ろうかん)3階ホールに於いて、40名の皆様に参加いただき18時30分から開催致しました。

冒頭、小井戸支部長から、飛騨支部活動への取組みのご理解、ご協力への御礼の挨拶で始まり、講師に労働者福祉中央協議会講師団講師の山本幸司氏をお招きし、講演内容として「誰もが人として生きていける社会のため 労働者自主福祉運動を新しいステージに前進させよう!」～歴史に学び「共助の創造と公助の再構築」＝新しい時代を切り拓こう～をテーマに講演をいただきました。

最初に、私たちはどういう時代をいきているかについて、次に、労働運動・協同組合運動は社会を変える力を持っているか?力の源泉は?について、今に引き継ぎたい労働者福祉運動の歴史と教訓として、労福協ならびに労働金庫・こくみん共済coopの創設の背景や歴史について理解を深めました。



飛騨支部会場の様子



講師／山本幸司氏

## 中恵支部主催 『理念・歴史・政策セミナー』 開催



中恵支部会場の様子

11月14日(木)東海労働金庫中津川支店2階会議室にて岐阜労福協中恵支部主催による「理念・歴史・政策セミナー」が開催され、各会員から42名の参加がありました。講師には、労働者福祉中央協議会講師団講師の山本幸司氏をお招きし、労働者自主福祉運動を新しいステージに前進させよう!～歴史に学び「共助の創造と公助の再構築」＝新しい時代を切り拓こう～をテーマに理解を深めさせて頂きました。講師の熱のこもった講演に参加者の皆さんは熱心に聴いてみえました。

講演からは今の時代だからこそ労働運動・協同組合運動を通じて労働者自主福祉運動を拡大し、共助の輪を広げて誰もが安心して暮らせる社会の構築が必要であることがわかりました。

参加者の皆さんからも分かりやすく、参加して良かったとのこと意見をいただきました。

## 2019年度 中部労福協研究集会に参加



研究集会の様子

10月2日～3日にかけて、兵庫県神戸市内「シーサイドホテル舞子ビラ神戸」において、64名参加の中、中部労福協主催2019年度研究集会が開催され、高田会長を含め4名が参加しました。

最初の講演では、中央労福協花井事務局長より、「労福協の2030年ビジョン」(素案その2)が提起・説明されました。これまでの10年間の活動の成果と課題や時代状況の変化もふまえて検証と見直しを行い、2030年度を目標年次として、今後の活動の指針となる新たなビジョンとして策定されました。

次に兵庫県子ども政策課副課長の青木健司氏より、「ひょうご子ども・子育て未来プランについて」そして、兵庫県生活支援課生活保護・自立支援班長の島浦佳樹氏より、「子ども食堂について」、さらに翌日の2日目には、兵庫県中央子ども家庭センターこども総括監兼所長の木下浩昭氏より、「児童虐待

防止対策について」のテーマで講演がありました。

どのテーマも現在の子どもを取り巻く環境や課題について、全国的な状況や兵庫県の状況について、それぞれの立場から大変興味深いお話を聞くことができ、理解を深めることができました。

2日目の最後は、NPO法人CODE海外災害援助市民センター事務局長の吉椿雅道氏より、「KOBEから世界へ」～NGOの災害救援～についての講演がありました。

CODE海外災害援助市民センターは、阪神淡路大震災の時に世界の約70の国や地域から支援を受け、そのお返しにKOBEの市民が立ち上がり、これまでに世界35の国と地域で62回の救援活動を行ってきたことが紹介されました。



花井事務局長

## 台風19号 被災地岩手県へ 義援金贈呈



今野会長へ目録贈呈

岐阜労福協では10月16日(水)～17日(木)に福島県被災地視察研修会を予定していましたが、台風19号の影響により阿武隈川が氾濫し甚大な被害が出ているとの報道がされたため、岐阜労福協から今回の視察は中止とさせていただくことを福島労福協へ伝えました。

今回の台風19号により福島県内において甚大な被害が出ていることから、台風19号への義援金として10万円を贈呈することを第5回常任幹事会・事業団体合同会議で提案し、全会一致で決議されました。

義援金の贈呈は連合岐阜が今年30周年を迎えたことから、30周年記念事業の一環として、東日本大震災の孤児・遺児を支援している、「ふくしまこども寄附金」に100万円の寄贈を行うことが決議され、連合岐阜の高田会長が福島県庁を訪問し贈呈する際、併せて岐阜労福協の会長でもある高田会長に福島労福協を訪問していただき、福島労福協の今野会長へ義援金を贈呈することを確認しました。

11月7日(木)高田会長が福島労福協を訪問、義援金(10万円)の目録を贈呈致しました。

## 第15回

## 岐阜県社会貢献顕彰者追悼式

10月21日(月)11:30より社会貢献顕彰碑の前で、第15回岐阜県社会貢献顕彰者追悼式を開催しました。当日は雨天が心配されましたが、曇り空の下で式典を行なうことができました。

清しさの中、厳かに追悼式が進行されました。追悼式は、顕彰碑に奉納されている20名に今年度新たに奉納される、中尾一明様と中村陽樹様の2名を加え、22名の顕彰者となりました。参列いただいたご遺族10名と顕彰委員会委員ら19名と併せて29名の出席により式典を行ないました。

式典は井端事務局長の司会進行により、冒頭、故人を偲び黙祷を捧げました。続いて顕彰委員会委員長の高田会長より岐阜県における労働運動や社会運動、平和と民主主義を守る運動に貢献された先人の霊を慰め、その功績を偲ぶために建立された顕彰碑「やすらいの碑」の説明と参列者への感謝を伝えるご挨拶がありました。

次に高田会長より、今回新たに顕彰碑に奉納される、中尾一明様と中村陽樹様の銘版をご遺族と一緒に顕彰碑内に納めました。

銘版奉納後、ご遺族ならびに参列者全員、顕彰碑に献花を行い、追悼式を終了しました。



やすらいの碑



参列者 黙祷

## 勤労者福祉の向上をめざし 岐阜県へ要請



井川県商工労働部長へ要請書提出



井端事務局長要請内容説明

11月13日(水)岐阜県庁4階第1応接室において、勤労者福祉向上をめざし岐阜県に対し要請を行いました。

要請内容は①地方におけるSDGs(持続可能な開発目標)の推進、②格差・貧困社会是正、セーフティーネットの拡充、③奨学金制度の拡充、④被災者支援と防災・減災の取り組み、⑤消費者・県民の安全・安心の取り組みについての5つの課題11項目を要請致しました。

特に改正生活困窮者自立支援法に定められた基本理念に基づき、法改正の趣旨及び目的について関係者や県民への周知・啓発の徹底と、大地震及び台風・大雨による水害や土砂災害など今後想定される大規模災害に備えた避難訓練や防災教育等の啓発活動をお願いしたいこと、2022年4月の成年年齢引下げを見据え、若年者を中心とした実践的な消費者教育について、市町村とも連携しての取り組みをお願いしたいと要請致しました。

また、質疑応答では、県内における子ども食堂への補助事業の実態について質問し、県からは子ども食堂運営者などを対象とした研修会の実施や、市町村を通して実態を把握し運営支援や補助事業の拡充を検討することなど報告いただきました。



# ワークプラザ岐阜 10周年記念 レセプション開催



高田理事長あいさつ



レセプションの様子

11月22日(金)18:00よりワークプラザ岐阜5階大ホールにおいて、「ワークプラザ岐阜10周年記念レセプション」が55名出席のもと開催されました。

レセプションは井端専務理事の司会進行で始まり、冒頭高田理事長から主催者代表のご挨拶があり、建設当時の時代背景や苦労話、10年間の歩みなどが紹介されました。

結びに、今後も20年、30年と愛され利用され続けられるようにしていきたいとの抱負が述べられました。続く来賓挨拶では、岐阜県：大城戸労働雇用課長、連合岐阜：渡邊副会長、東海労働金庫：舟口専務理事、こくみん共済coop岐阜推進本部：豊田本部長からそれぞれ祝辞が述べられました。そして、内藤理事の乾杯のご発声で歓談が始まりました。今回はケイタリングの料理と飲物が準備され、高橋事務局からはワークプラザにおける諸会議・行事での利用のお願いと紹介がありました。

最後に、筒井理事の閉会挨拶でレセプションは終了しました。

# 中央労福協 第64回定期総会開催

## 労福協の原点、創業の精神 ～福祉はひとつ



神津会長のあいさつ



定期総会会場の様子

### 《労福協の理念》「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります」

11月29日(金)東京都内日暮里のホテルラングウッドにおいて中央労福協第64回定期総会が開催されました。冒頭、神津中央労福協会長から挨拶があり、2030年ビジョンに沿って、

- ①安心して働きらせる社会を目指して
- ②労働者福祉事業の促進と共助の輪の拡大
- ③支え合い、助け合う地域共生社会づくり
- ④人材の育成と財政基盤の確立

の4つを活動の柱とし、加盟団体や関係する諸団体との密接な連携のもと、この2年間の活動をすすめるとの挨拶がありました。

続いて2018～19年度活動報告・会計決算報告ならびに会計監査報告が提案され満場一致で承認されました。次に花井事務局からは、労福協の理念(案)労福協の2030年ビジョン(案)2020～21年度の活動方針(案)ならびに2020年度予算(案)が提案され、満場一致で承認されました。今年度は役員改選期にあたり、役員改選(案)が提案され、花井事務局の後任に、南部美千代事務局長が選任されました。最後にスローガンが採択され、定期総会は終了しました。

2019年11月29日 中央労福協第64回定期総会

### 「労福協の理念」「2030年ビジョン」のフレームワーク

**労福協の原点、創業の精神**  
「福祉はひとつ」

労働組合と労働者福祉事業団体が、組織の枠を超えて、福祉の充実と生活向上をめざすという一点で結集し、中央労福協を構成。

これからも、加盟団体の結束を強めるとともに、多様な団体や市民とそれぞれの取り組み、課題に応じて「自発的な連携、連携しない事前で連携する」とことを大事にしたい。

**労働者福祉運動とは**  
労働者が関与し、働く人たちの福祉(幸せ)の実現に取り組んでいく運動

労働者(対象) → 労働者による福祉(主体)

組織労働者だけでなく、非組織労働者、働き方によって異なる労働者、多様な労働者にも広げよう。

福祉の狭いから多様化し、多様な労働者を対象とする。ネットワークで課題解決に取り組む。

**2020年ビジョンの振り返りと課題**

<p><b>時代認識とめざした社会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の持続性の危機がより顕著</li> <li>・国際協定(2012年)、SDGs</li> <li>⇒ 協同組合への期待の高まり</li> </ul>	<p><b>2020年ビジョンの継承・深化</b> (連帯・協同を社会に浸透させていく)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知度の向上、組合員への浸透</li> <li>・「みんなが参加する」事業と運動</li> <li>・「共助の輪」の拡大</li> </ul>
<p><b>労働運動・労働者福祉運動の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働運動や協同組合の役割の発揮</li> <li>・「ともに運動する」関係づくり</li> </ul>	<p><b>労働協同・協同</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携・ネットワークで広がる運動</li> <li>・ゆるやかな協同体としての特徴</li> </ul>

**時代や社会の変化と10年後を見据えて**

<p><b>変化する持続可能な社会と企業との関係性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>富を公正に分ち合う社会へ</li> <li>「助けて」と言える社会へ</li> <li>(雇用・社会保障、教育・福祉・環境)生活保障の再構築</li> <li>自然と共生し、攻守に強い社会へ</li> <li>多様性を認め合う文化、参加型民主主義の盛んな社会へ</li> <li>ジェンダー平等の社会へ</li> </ul>	<p><b>これからの日本社会の課題への対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若少子・高齢・人口減少社会 → 「家族で支えるから」「地域・社会で支え合う」へ</li> <li>社会的孤立の広がり → 「持続可能な地域づくり」「人々が「支え合う」共生社会へ</li> <li>急速な技術革新の光と影 → 技術は人間の幸せや豊かさのために</li> <li>協同組合の役割の再評価 → 総合的な協同組合促進政策、協同組合の構造的な連携</li> <li>労働協同・協同のネットワーク → ティーセントワークの構築、協同組合の促進</li> </ul>
---	--

**労福協の理念**  
すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります

**2030年にめざす社会像**  
貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働きらせる持続可能な社会

**2030年ビジョン**

1. 多様なセーフティネットを、働くことや暮らしの安心を支え、

【ビジョンを実現するために】

- (1) 安心できる社会保障制度やセーフティネットを強化します
- (2) 貧困や社会的排除をなくし、格差を是正します
- (3) 学びと住まいのセーフティネットをつくります
- (4) 労働運動と消費者運動をつなぎます
- (5) 持続可能なで、安心して働ける社会をつくります

2. 労働組合と協同組合が連携・協同し、共助の輪を広げ、すべての人の暮らしを支えるために取り組めます。

【ビジョンを実現するために】

- (1) 協同組合の基盤を強化し、活動領域を広げます
- (2) 協同組合の社会的価値と力を高めます
- (3) 労働者福祉事業団体と労働組合との「ともに運動する」関係を強めます
- (4) 離れとり取り戻さず、共助の輪を広げます

3. 地域が結びあうネットワークで、支え合い、助け合う地域共生社会をつくります。

【ビジョンを実現するために】

- (1) オフサイト活動のネットワークを広げ、地域の課題解決につなげます
- (2) すべての人にとって働きやすさや暮らしやすい地域共生社会をつくります
- (3) 福利厚生を是正し、中小企業や非正規雇用で働く人たちに拡充します

4. 労働者福祉運動を継承・継続する方向に、人材を育成し、財政基盤を確立します。

【ビジョンを実現するために】

- (1) 運動を継承する人材を育成します
- (2) 労働者福祉運動への女性の参加を促進します
- (3) 財政基盤を確立します

# 勤労者チャリティー文化講演会開催



講師／高橋英樹 氏

## 岐阜地区

## 高橋英樹 講演会

11月26日(火)18:30から岐阜市文化センター小劇場において、講師に俳優の高橋英樹氏を招き「高橋英樹流、歴史の愉しみかた～歴史上の人物を演じた視点から～」と題し、勤労者チャリティー文化講演会を開催しました。

今回も各支部と連合岐阜での告知や周知の取り組み、情報誌「GIFUTO」の掲載、近隣住民に対する回覧板告知などにより、多くの問合せがありました。

開催日当日の26日まで入場整理券を求める問合せや、岐阜市文化センターへの問合せも多く寄せられたとの報告がありました。

当日は心配された天気も持ちこたえ、開場時間の30分前より多くのみなさんが入場待ちの列をつくりました。

結果、入場者数は451名を数え、ほぼ昨年と同程度の入場者数になり、多くの方にお越しいただきました。

講師は、芸能界きっての歴史通と言われ、これまで時代劇や大河ドラマで演じてきた人物や歴史ドラマにまつわる様々なエピソードを交え、名俳優ならではの視点での講演となりました。

中でも、俳優になって間もないころ、岐阜が長期間のロケ地であったことや金華山に上った岐阜城の思い出など、岐阜の街には愛着があるとの紹介がありました。

また、時代劇のセリフの一節が披露されたり、俳優・役者のモノマネや芸能界の裏話など、途切れない話題がつづき、75歳という年齢を感じさせないエネルギッシュな語り口で、会場全体が話題に引き込まれ、時として笑い声が響きました。

会場のみなさんからは、大変良かった、おもしろかったなど、多くの方から好評の声をいただきました。

なお、当日は入退場の際、「被災地チャリティー募金」をお願いし、51,951円の義援金の協力がありました。



講演会場の様子

## 土岐支部

## 山崎武司 講演会

11月30日(土)多治見市バロー文化センター小ホールにおいて、山崎武司氏を招き、「3度のクビから現役27年」と題し、岐阜労福協土岐支部主催勤労者チャリティー文化講演会を開催し、140名の来場者がありました。



講師／山崎武司 氏

山崎氏は、中日ドラゴンズ、オリックス・ブルーウェーブ、楽天イーグルスと3球団に所属し、名將監督のもと、2度の本塁打王を獲得するなど、輝かしい記録を残しました。19年間本能のままに野球をしてきたと語り、腐りかけていた自分から生まれ変わることができたエピソードや苦労話などを交えた講演となりました。昔懐かしい野球選手の名前や、プロ野球界のウラ話の一端を紹介するなど、時おり会場から笑い声がもれる場面もありました。

また、入退場の際、「被災地チャリティー募金」を呼び掛け、26,451円の義援金の協力がありました。



講演会場の様子

### お知らせ

## 「労働組合のための会計税務研修会」のご案内

- 日 時** 2020年2月21日(金曜日) 午後3時～5時
- 場 所** ワークプラザ岐阜 4階 大会議室
- 講 師** 中央労福協顧問税理士 関口邦興 氏
- 内 容** ○会計処理に関する事    ○源泉徴収に関する事    ○法人税に関する事    ほか





# 岐阜労福協 チャリティーゴルフ大会報告



11月7日恒例の第22回岐阜労福協チャリティーゴルフ大会をぎふ美濃ゴルフ倶楽部において開催しました。  
大会は労福協各支部・事業団体・産別代表により、14チーム54名の参加があり、各支部での予選会を勝ち残った精鋭がプレーを楽しみ、結果は団体優勝／西濃支部、準優勝／中恵支部となりました。  
大会ではチャリティー募金を行い、53,020円の募金協力がありました。



優勝／西濃支部



準優勝／中恵支部



内藤副会長 開会あいさつ

## 第55回岐阜県勤労者球技大会

11月3日(日)ソフトボール県大会を、各務原総合運動公園において、前年度優勝チームを含む12チームで行いました。ボウリング県大会は11月10日(日)に岐阜市マーサボウルにて開催し、前年度優勝・準優勝チームを含む18チームで競い合いました。

### ソフトボール県大会



優勝／下呂市役所



準優勝／JR東海高山工務区



試合の様子

### ボウリング県大会



優勝／濃飛乗合自動車チーム



準優勝／イビデンAチーム



競技会場の様子

# 謹賀新年

こくみん共済coop  
公式キャラクターピットくん(中央)と  
ピットくんファミリー

誰かが困ったときにたすけあい、誰でもあたりまえに暮らせる安心を。  
こくみん共済coopは、生命や損害はもちろん、賠償の分野までトータルに保障をご用意しています。  
これからもたすけあいの心で常に時代に合った保障のカチを提供し、安心をお届けします。

こくみん共済	組合医療共済	せいのめい共済	火災共済
自然災害共済	マイカー共済	自賠責共済	交通災害共済
労働生命共済	新セット専行共済		

こくみん共済coop 岐阜推進本部  
(岐阜県労働者共済生活協同組合)

「こくみん共済coop」は恩恵を目的とした保障の生発として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住者または勤労者の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

**こくみん共済(全労済)**

ぎふ労働者共済生活協同組合 2319U017

あけまして  
おめでとーございませす

本年もよろしくお願ひ申し上げます

二〇二〇年 元旦

あなたと  
わかちあう  
次の一歩

けっこう使える  
ほうきん

## ワークプラザ岐阜

〒500-8163 岐阜県岐阜市鶴舞町2丁目6番地7  
TEL/058-245-2411 FAX/058-245-2416  
URL/ <http://work-plaza-gifu.lekumo.biz/workplaza/>  
駐車場/80台  
休館日/12月29日~1月3日

### 無料駐車場80台完備

各種研修や会議、イベント、セミナーなど多目的な用途に応じて、大小さまざまな研修室を充実した設備とリーズナブルな料金をご用意しております。

会場名	面積(m <sup>2</sup> )	収容人数
大ホール	305.87	210
大会議室	131.57	78
大会議室	123.62	78
中会議室	62.38	36
中会議室	62.06	36
小会議室	37.16	16
小会議室(和室)	(12.5畳)	—

# 新春のお慶びを申し上げます

東海労働金庫

専務理事 舟口 憲雄

こくみん共済coop 岐阜推進本部

本部長 豊田 由二

(一社)岐阜県勤労福祉センター

理事長 高田 勝之